



No. 112

発行人 樽林 元樹
発行所・事務局 一般社団法人千葉県社会福祉士会
〒260-0026 千葉県千葉市中央区千葉港4番5号
千葉県社会福祉センター5階
TEL 043-238-2866
Fax 043-238-2867
<http://www.cswchiba.com/>
E-mail: office@cswchiba.com

特集 「つながりを創る 社会福祉士会で自分を活かそう」



個人のつながりは家族を作り、社会とつながることで集団を組織し、集団は国家を構築することで、国家により定められた秩序の中で私たちは自由な活動を保障されています。

しかしながら、秩序とは社会全体を対象としているため、性別、年齢、職業、住まい、それぞれ十人十色の個性をつなげていくために集団はあるのでしょうか。

SNSや紙面と違い『体験』は集団から享受できる、私たちの自由な活動といえるでしょう。

●遺品整理 ●生前整理

●ゴミ屋敷のかたづけ

●不用品処分 ●草刈

●その他お家の事何でも

9時~18時 年中無休

TEL03-6863-9826

お気軽にお電話下さい

おたすけ救急車

介護保険外サービス
福祉に強い便利屋
グランドール



とにかく何でもやります！

☎ 080-8166-3774

<https://benriyagrandeur.com>

《 特集 》

- 2 つながりを作る
- 7 コラム スーパービジョン体験談
- 8 私が学んだ対人援助
- 9 地域集会
- 10 ストレートネックマン
- 11 社会福祉士の輪
- 12 事務局便り

特集

つながりを創る 社会福祉士会で自分を活かそう

船橋市「保健と福祉の総合相談窓口」

さーくる

瀬戸 翔太郎

(せと しょうたろう)



私は千葉県社会福祉士会に入会する一〜二年前から、自宅から行ける範囲での各地の地域集會に参加しており、二十代半ばの未熟な私を暖かく迎えてくださる雰囲気を感じ、居心地の良さを感じていました。元々、学生の頃の実習の際にお世話になった実習指導者の方から、専門職として職能団体に所属する事の重要性を学んだ経験から、いつかは社会福祉士会に所属するつもりでもありました。

また、専門職として倫理綱領を遵守することを誓約するという、専門職としての自分を律する意味合いでも、職能団体に所属する必要性を感じていました。実際に入会したきっかけは、新規業務を担当するにあたって、情報交換できるつながりが欲しいと思ったことがきっかけでした。当時私は小規模な市町村社協で生活困窮者自立支援事業を中心に生活福祉資金貸付や日常生活自立支援事業などの、個別支援の担当をしていました。

新規事業として法人後見事業を立ち上げることになり、担当することになりましたが、日常生活自立支援事業などのどこの社協でも行っている事業なら県社協主催の担当職員研修があります。しかし法人後見事業は当時実施している社協が少なく、成年後見人としての業務の実務について学ぶ機会が限られていたため、職域でのネットワークに加えて、一人の専門職としてのネットワークを作る必要

があると感じたため入会しました。

入会してからは、地域も分野も異なる多くの方と出会い、交流することができ、職場の人とは話せないような「専門職として」の話を

とはとても珍しいようです。千葉県の福祉や司法の専門職団体同士が良好な関係を築いているおかげで、業務で弁護士等と連携する際のスムーズさにつながっていると

をする機会を持つことがありがたいと思っています。職場の人には話せない悩みを吐き出せる場になったり、企業文化の違う他法人の方と話すことで自分の職場に活かせるアイデアを頂けたりもします。生活困窮者自立支援事業という総合相談的な機能を持つ事業の相談員として、引出しを増やすことにもつながったと実感しています。一時期地区の世話人もさせて頂き、隣接地区の方と研修を企画させて頂きました。あまりお役には立ちませんが良い経験をさせて頂きました。また、「福祉と司法の千葉県キャラバン」を勤務先の地域で実施することになった際に企画から携わらせて頂き、他団体の方と協働する経験も大きかったと思います。他県で実践している社会福祉士に聞くと、千葉県のように分野の異なる職能団体同士の付き合いがあり、共同で事業を行うようなこ



株式会社ベストサポート

竹嶋 信洋

(たけしまのぶひろ)



はじめまして。千葉県千葉市若葉区、JR都賀駅付近の知的障害者支援施設で働く、竹嶋と申します。

お恥ずかしい話ですが・・・私は、社会福祉士を取ってから十年強は、日本社会福祉士会及び千葉県社会福祉士会に入会をしていませんでした。その理由は以下の二つです。
①手続きが面倒くさい。②入っても入らなくても自分の仕事や生活に関係ないと思っていた。

ところがある日、前会長の渋谷さんにお声をいただき、渋谷さんがおっしゃるなら、「渋谷」に千葉県社会福祉士会へ入会しました。渋谷です・・・。

ところが、です！会に入っていると様々な地域、分野で活躍されている社会福祉士と知り合うことができました。私の目の前が「ぼ

ーっ」とひらけていく感覚を鮮明に覚えていきます。渋谷に会に入会しただけでしたが、間違いなく私の視野は広がりました。障害分野の私がなぜか「千葉県の高齢者虐待防止対策研修」の担当をさせていただきましたが、ベテラン社会福祉士の方々から聞く話とはとても深く、勉強になりました。また、困っていたら必ず力を貸してくれます。

千葉県社会福祉士会での思い出は沢山ありますが、仲間と一緒にフォーラムを作り上げたことは、私にとつての大きな成長の機会となりました。子ども食堂の全国フォーラム「広がれ、子ども食堂の輪！全国ツアーINちば」をやりましたが、幸運なことにこの実行委員会に入れてもらうことができました。当時は、子どもの貧困は知っていても実態はよくわからずでした。しかし、内閣府の方の事前研修を受けさせていただき、講師とのやりとり等を含めた準備、当日の講義などで、知見が広がっていったのは間違いありません。そして、フォーラム終了後から少しずつですが、「地域共生社会」とは一つの分野だけを知っていても

到達できないことがわかり、新たな旅に出たような気分になりました。更には、共同の主催者である団体の方々と知り合いになり、今でもその団体の方とは一ヶ月に一回は会い、様々な課題に対して検証したり、アプローチをしたりしています。

また、自分で企画したイベントも大切な思い出です。「大人の文化祭」です。社会福祉士の仲間と、社会福祉士のためのイベントでした。学びになったことは言うまでもありませんが、何よりも「自分のやりたい」を形にできた喜びは中毒になります。

千葉県社会福祉士会に入会し、活動することで、知り合いが増え、仲間が増え、知識が増え、ワクワクが増えました。こんな状況を作ってくれた会及びメンバーにただただ感謝です。

私にとって社会福祉士会での活動は、人生を変えてくれるものでした。そして、これからも、千葉県社会福祉士会は、仲間との繋がりや語り合い、笑いを提供してくれながら、私を新たな旅へと導いてくれると思います。千葉県社会福祉士会、万歳！

君津児童相談所

大塚 歩

(おおつか あゆみ)



『寝の中』

はじめまして。僕は、幼い頃から朝起きるのが苦手です。歳を重ねた最近では、目覚ましのアラームを聞きながら「ああ、土曜日だ。今日と明日ゆっくり休んで、また仕事だな・・・あれ？まだ水曜日だ！」と慌てて飛び起きるほどです。

現在は、児童相談所で子どもやご家族にこれまでのことを教えていただきながら、一緒にこれからすることを考える仕事をしています。数年前までは、市役所で経済的にお困りの方や頼れる人がいないという方にこれまでのことを教えていただきながら、一緒にこれからのことを考える仕事をしていました。その前は介護保険のデイサービスで、もつと前は郵便配達や学習塾や洋服屋やスーパーマー

ケットや病院で働きながら、その時々で近くにいる人にこれまでのことを教えていただきながらこれからのことを考えていたように思います。

刑務所から出所してきたお父さん、我が子の出生届を出せなかったお母さん、橋の下で暮らすおじさん、繁華街で保護された若い女性、屈託なく笑う子ども達…。

その時々で、お会いする方々これまでのことを教えていただきながら僕なりに「こんな感じかなあ」と考えて、考えたことを色々な方に相談しながら、これからのそれぞれの暮らしへのひとまずの答えらしきものを手にしてきているように思います。

個人と社会との間には幾分かの距離がありそうで、中立公正なところと社会的信用を求められるところに居合わせる人にとって、「その人の正しき」にどこまで付き合うかはお互いに大なり小なりの葛藤を抱えるように思います。

もしも、「私には届かないところ」に届きそうな「あなた」と出会えるとしたら。「私」や「あなた」も。「お父さん」や「お母さん」も。「おじさん」や「若い女性」や「子ども達」も。柔らかな何かを少しずつ分かち合いながら、それぞれが公正さと信用も抱えていられるのではないのでしょうか。

「あなた」と「これからの私」との出会いに、「社会福祉士」と書かれたチケットを持って各駅停車に乗ってみよう。乗り合わせた人達と世間話をしてみよう。乗り継ぎや帰り道に迷ったら、近くにいる人に教えてもらえば良いし、星座を探しながら方角を確かめるのも悪くない。

もしかしたら、手にしてきた答えらしきものは、誰かとの関わりの中においてのみ輝いているのかもしれないし、関わりの狭間で揺らぎながら生きる人達をソーシャルワーカーと呼ぶのかもしれないなあ・・・そんなことを布団の中で考えています。

あれ？今日、日曜日だ。



ばあとなあ千葉所属
長尾 景子（ながお けいこ）



私は、ばあとなあ千葉に所属し、成年後見人・未成年後見人を受任して10年目になります。学校卒業後、銀行員・専業主婦歴18年、そしてユングの「人生の午線」から福祉業界に入り18年目になります。

人生100年時代、当初から福祉業界への扉を開いた方、多業種からの移行の方、様々ではないかと思えます。

私たちが支援させて頂く方々は、個性（生きづらさ）をお持ちです。

私たちソーシャルワーカーには、当事者の持てる力を発揮できるように多角的にアセスメントし、様々な関係機関・制度・地域資源と結び付けることが求められています。

そのためには、まず、支援者側である私たち社会福祉士が、地域集会・研修・談話室・現場等でつながりを創り、更には実践を積み重ねていく中で多職種・多機関・地域住民との連携の輪を広げていくことが、当事者支援・同時に私たち支援者の大いなる力になることを体感しています。

現在、私がかかわっている未成年後見人支援は多職種・多機関連携の支援の輪によって成立しています。この度、未成年被後見人の高校進学に伴い児童福祉施設からグループホームへの移行することになりました。未成年者支援の為、児童相談所（心理職含む）・児童福祉施設（専門支援員）・障害者基幹型相談支援センター・グループホーム・相談支援事業所（相談支援専門員）・病院（医師・PSW）・市役所障害支援課・生活支援課と連携しています。

この支援の輪の中で、環境の変化に弱い未成年者をいかにスムーズに地域移行するか、担当者会議を開き、確認し実行しています。

医師からのご助言「支援では、病名に引っぱられない。伸びしろをもったお子さん。本人の前向きな気持ちを取りカバリープランに。善意の大人で、包括的に支援していく必要がある」は、支援の基盤として刻まれています。

私は、7年前に社会福祉士会の未成年後見人の研修を受講し、保育士が0〜18歳が支援対象で、その資格取得が支援の一助になると講義を受け、温めること7年。コロナ渦、拙い実技ピアノを選択、読み聞かせは孫を相手に練習、保育士資格を取得しました。長年子ども成長に心惹かれていた扉が拓いた感があります。前後して、対人支援当初より、心に関する支援を学びたいと考えており、公認心理師資格が誕生したのをチャンスに取得しました。

対人援助の場面で、いかにいかしていかかがテーマです。同時に「人間は自分の人格レベル・体験レベルでしか人の話を聴けない」は、胸にとどめておきたい言葉です。

支援を通じ、各機関の役割を知ること・私自身学びの必要性（アセスメント、継続支援における力

ウンセリング・生涯発達支援・家族支援・発達障がい者支援・学校心理学・未成年者支援におけるキヤリア支援等）に改めて気づかされました。

昨年より、ばあとなあ千葉で「未成年後見人」の勉強会が産声を上げました。実践を共有し積み重ねていく中で、現場から社会システムへの提言につなげられたらと考えています。

人にかかわる人をサポートすることは、欠かせません。支援者に英気を養って頂ける場の一つが社会福祉士の輪です。お気軽にドアをノックしてください。お待ちしております。

**千葉県社会福祉士会 会長
樽林 元樹（くればやしもとぎ）**



新入会員の皆さま、ようこそ千葉県社会福祉士会へ。この春、新たに社会福祉士資格を取得された皆さん、資格取得おめでとうございます。新しくソーシャルワーカーとして働き始めた皆さん、一緒に頑張っていきましょう。どうぞよろしくお願いいたします。

私たちソーシャルワーカーは、いろいろな人達とつながり一緒に連携しながら、生きづらさを抱える人たちに寄り添っていく専門職です。時には私たち自身もしんどくなってしまいう時もあるかもしれませんが、私自身も仕事でどうしようもなくしんどくなっていた時に、千葉県社会福祉士会の先輩たちに助けてもらいました。自分のことを大丈夫かなと気にかけてくれている仲間がいること、困ったときには助けてくれる仲間がいることが私にとってかけがえのない宝物です。

私が千葉県社会福祉士会の活動に参加するきっかけは、二〇一〇年に立ち上がった「災害時に社会福祉士として何をするべきか」を考えるワーキンググループへの参加でした。それぞれ異なるバックグラウンドを持つ仲間たちと仕事が終わった後に集まって、災害時に何が必要なのか、ソーシャルワーカーとして何をすべきかなど白熱した議論をしました。参加した仲間たちの様々な視点からの意見に刺激をうけるとともに、こんな素敵な人たちと仲間になれて一緒に会の活動に参加できていることがとてもうれしく、毎回集まるのが楽しみでした。

その後、東日本大震災が起こったときには、私の住む浦安は液状化による被害をうけましたが、会の皆さんや県内社協の皆さん、たくさんのボランティアの皆さんに支えてもらい活動することができました。ボランティアセンター立ち上げ当初、先輩に相談の電話を入れました。翌朝、仲間とともにたくさんの資料をもってリアカーに載せて駆けつけ「もう大丈夫」と声をかけてくれた先輩たちに支えられ大丈夫と思えたあの日の朝

のことは今でも鮮明に覚えています。

困ったときに相談できる仲間がいること、そして声をあげれば助けに来てくれる仲間がいること、今まで言葉で簡単につかっていた「ネットワークの重要性」「つながることであまれる力」がある時、皆さんに助けてもらい支えられてきたことで実感として私の骨身に染みこみました。

助けてと発信するのはとてもハードルが高いですね。でも社会福祉士会には助けてくれる仲間がたくさんいます。就職したばかりの皆さんは目の前の仕事で余裕がないかもしれませんが、だれか一人でも先輩ソーシャルワーカーと繋がりを作れば、その先輩が仲間のネットワーク広げてくれます。まずは勇気をもって一歩を踏み出して地域集会や研修、委員会活動に参加してみてください。そこで素敵な仲間とたくさんつながってください。困ったときには仲間同士で相談しあえて、支えあえるソーシャルワーカーになれるようにみんなで一緒に頑張りましょう。

**千葉県社会福祉士会の
委員会活動紹介**

私たちが、社会福祉士としての専門性を高め、ソーシャルワーカーとして輝くための研鑽や仲間づくりの場として、千葉県社会福祉士会では様々な活動の場がありますので、紹介します。

総務委員会

企画部会

地域集会を企画する「世話人」同士の情報交換の企画。MSW、PSW、弁護士等多様な団体と講演会等を企画しています。熱い想いを持ったベテランたちと出会い、刺激を受けられる部会活動です。会議等の打合せは、主にオンラインで行っています。

広報部会

皆さんがまさに今みている広報誌「点と線」の年3回の発行のため、記事のテーマを話し合ったり、編集、校正等の作業を行います。テーマを決める編集会議は、部会員同士の自己研鑽の場となっています。

総合相談委員会

千葉県委託事業として高齢者虐待防止に関する研修、また高齢者虐待専門職チームへの派遣などを行っています。今後は社会福祉士の繋がりの場が展開できるような事業を現在検討中です。

研修委員会

会員の学びの提供や受験対策などの様々な研修や事業を実施しています。具体的には、基礎研修（I〜III）、実習指導者養成講座、社会福祉士国家試験模擬試験作成（民間企業とコラボ）、社会福祉士受験対策講座等を実施しています。

権利擁護センターばあとなめ千葉運営委員会

成年後見制度の利用を中心に、権利擁護のための諸活動を行っています。「専門職後見人」として成年後見制度に関する研修を受けた社会福祉士が登録して、活動しています。

司法福祉委員会

弁護士と共に高齢者・障害者の被疑者・被告人の段階での支援（入口支援）をするため、司法福祉ソーシャルワーカー認定研修（年2回）や学習会（年2回）などを企画実施しています。

災害対策委員会

災害が発生した際に、千葉県社会福祉士会として支援活動ができるように、様々な活動に参加しながら、有事に備えた準備を行っています。具体的には、県の合同訓練に参加、災害支援研修会の開催、県社協、DWAATなど関係団体との意見交換、訓練、研修への参加などがあります。

活動したいあなたへ
「〇〇委員会（部会）で活動してみたい」というあなた。まずは事務局へご連絡ください。
TEL 043-238-2866
Mail office@cschwchiba.com

「スーパー・むむ」

「スーパービジョンを受けて」

ケアハウス四季の里

生活相談員

岩間 太一（いわま たいち）



私がスーパービジョンを初めて受けたのは、かれこれ六年も前のこと、平成29年。

嗚呼今自分でパソコンの前で六年経ったと気付き、ビックリしてます。当時私はまだ36歳だったのかと。

その当時は基礎研修Ⅲまでの受講を修了し、どうせなら認定社会福祉士に進んでしまおうかしら、私が認定なんて取ったら笑いのネタになるんじゃないかしらと、そ

の程度の想いの中に「もっと自分を高めていきたい」という、アンバランスな相反する感情を内包しつつ、認定に必要だったスーパービジョンを受けることにしたので覚えていきます。

丁度近隣の専門学校にバイザー登録されている先生がおり、その方に依頼。以来その方は私のソーシャルワーカーの師匠となるのでした。

最初の一年から次の年、計二年間その先生と共に、自分の施設相談員としての仕事に向き合いました。

先生には今でも仕事の中で思い返す、たくさんの金言を頂きました。

入居者家族との間でトラブルとなった際、課題解決にばかり目を向け相手の本当に話したいことに耳を傾けていなかった私に対し、「あなた、その人の気持ち聴けているの？」という言葉が掛けて頂いたり、同じ職場の職員との関係に悩んでいた当時の自分に、「人と人は合わせ鏡、マイナスの感情を持っていると相手も同じような顔で

あなたを見る。自分が信頼を表現しないと相手も信頼は寄せない」ということ、また、プラスの感情もマイナスの感情も適切な表現で伝え合うアサーションを教えて下さったり。「職員も悩みながら日々を送るクライエントである」という視点を与えて下さったり。

なによりソーシャルワーカーは「クライエントの声なき声を聴き、その人の権利を擁護するのが仕事」である、声なき声っていうところがミソよと教えて下さったことなど、挙げれば枚挙にいとまがありません。

先生の前では自分を隠すことができませぬ。オブラートに包んでも表面的な格好良いことを言ってもすぐに見抜かれ、自分から吐き出してしまいます。それだけその人の本質を捉える技術があるのだと思います。その二年間、本当の意味で自分と向き合ったことが一番大きかったと思います。自己覚知とはよく言いますが、本当の自分と向き合うことは簡単ではありません。非常に辛いものでもありま

した。一度耐えられなくなって帰っちゃったこともありました。

最後にバイザー側が作成するスーパービジョン機能表というものがあるのですが、そこに「悩みがあるということは真剣に取り組んでいるということ」「自分の弱さを話せるのは強さの証」「岩間さんならできます」と書いて下さっていて、心にじんわりと温かいものが広がったことは今でも鮮明に憶えています。やっつてよかったなど。

スーパービジョンの支持的機能、承認されることの重要性をそんなところからも学びました。

実は今年度、改めて先生のところへスーパービジョンを受けに行っています。人間時間の経過と共に歪みがでるものです。事前に先生にお会いした際、「三年に渡るコロナ禍で」なんていいのいいことを言ったら「そこが悩みの根底ではないわね」とすぐに見破られてしまいました。またこれから真の意味で自分と向き合うこととします。一歩進んで二歩下がるけれど、一歩進めばそれでいいんだと思います

私が学んだ対人援助

普段の支援場面でクライアントを守り、支えるために我々は専門的な技術と知識を学びます。それは、支援場面での経験と照らし合わせてこそ自分の血肉になりません。そのような体験と学びをそれぞれの分野で活躍する方からお話を頂きました。みなさんの経験と照らし合わせてみてくださいくださいね。

【高齢】

普段、高齢者の方と多く接してはいますが、特に認知症を患っておられる方への支援では日々、試行錯誤しながら奮闘しています。日頃から、バイステックの7原則を念頭に接しているつもりですが、失敗を振り返ってみると7原則のどれかしらがなされていないことが殆どで、毎回、この原則の大切さを痛感させられています。また、ご本人の拒否がある際など、支援に迷う時は社会福祉士会の倫理綱領・行動規範に照らし合わせて行動しています。

【児童】

サインズオブセーフティアプローチ。西オーストラリアの児相の好実践を基に開発された児童虐待ソーシャルワークの枠組みです。面接は、解決志向アプローチで質問を重ね、当事者の主体性を尊重しながら、子どもの安全、安心の構築に向け対話します。児童虐待対応は、当事者のニーズに反して介入し、対立的になることがありますが、未来志向で当事者の希望や強みに焦点化することで、当事者にもワーカーにも力を与えてくれます。

【障害】

私は障害者就労Bで勤務しています。障がい者支援の中で感じるのは、障がいのある方々はこれまでの人生で「障害があるからできない」とも「仕方がない」「障害があるからできるわけがない」と周りも、自らも諦めたり、自己主張が許されてこなかった経験を積んでいる方が多いということです。そのような障がいのある方のストレスングスに気付き、エンパワーメン

トしていくことで自信をもって未来や可能性を見出せるような支援を心がけています。

【生活困窮】

① ソーシャルワーク実践において大切だと思うことは、色々な機関とつながり、支援チームを組む事です。もちろん相談者の支援の為にチームを組むのですが、支援者同士が支え合う為のチームでもあります。困難ケースになる程、支援者が疲弊してしまい、1つの機関で抱える事が大変な時もあります。すぐに解決に至らなくても、一緒に頭を抱えて、知恵を出し合い、励まし合える事がとても大切だと思います。

② 対人援助において、私はその人の魅力を見つけ、事を大切にしています。持っているボールペン、飾っているお花、趣味、特技、何でも良いです。話の中で自分との共通点を見つけられると、信頼関係の構築に役立つ事もありますし、私たちも相手に「隙」を見ることが出来ると思うのです。我々に「隙」が無いと相手

本音で話せない事もあると思うのです。時にはお互いの人間味を見せ合っても良いと思っています。

【後見】

「意思決定支援の重視」が求められる今日の成年後見制度において、「対人援助技術」はその実践基盤となる重要な技術と理解します。

私たちは、ご本人との信頼関係を前提に、意思形成、意志表出等を含む一連の意思決定プロセスに寄り添うのですが、この技術をうまく活用することで、その発現効果を少しでも豊かなものへと導けるかもしれません。

私はこの技術や知識を振り返るとき、抛りどころとするのはやはり養成校の当時使っていたテキストです。活字の上の汚いメモ書きやマーカーペンの跡をなぞるたび、原点に立ち返ったような新鮮な気分にもなる、古くはなりましたが今も恩師ですかね。

【MSW】

私が退院支援でもっとも大切にしていることは「自己決定支援」で

す。退院後の生活について、どうしていききたいか？どんな不安や心配があるか？等、丁寧な聞き取りを行い、寄り添いながら出来るだけご本人の希望に沿った退院先を、院内・院外の医療・ケアチームで検討します。家族や支援者の意向が反映されがちな中で、本人が安心して自分の意見を言えるよう働きかけ、本人の意思を尊重し、その決定を支援することが重要であると考えます。

地域集会

山武地区社会福祉士会
 亀山 浩（かめやま ひろし）



今回の地域集会の参加はとても勉強になることばかりでした。

まずは、旭市の地域包括支援センターにおけるソーシャルワークの実践では旭市における地域の問題となる点を具体的にあげ、ソーシャルワークとしてどう向き合うかということが述べられています。

旭市は千葉県の中でも東総地区における中心地として旭中央病院はじめハード面でも充実しています。その中でソフト面もいかに充実しているかということが理解できてよかったです。

事例の中にある権利擁護とケアマネジメントでは、六十歳以上で障害を持ち年金受給者である方の生活について述べられ、今の時代における障害高齢者に関する対応がとても勉強になりました。

総合相談の事例では、多職種連携がいかに大切かということが述べられていてとても参考になりました。

続いている発表では認知症高齢者が、ラン伴をはじめとするレクリエーション活動を通じた社会参加

について述べられていました。ここで大事ななと感じたことはイベントなどを通して社会に参加するということがすごく重要だということ。一般的に社会に参加すると言ってもすごくハードルが高く感じてしまいがちですが、同じ病に向き合っているある意味でいえば出会いの場を通してお互いが励まされ元気になるという相乗効果が垣間見れてすごくいいことと思えました。

似たような例でいえばオレンジカフェなどもあると思いますが、もっと出会いの場があつてお互いが助け合っていければと思います。

ただこれからの時代はイベントなどの出会いの場は重要なのですがその先を考えていかなければならないとも感じています。

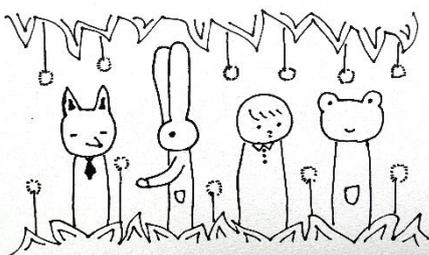
それは認知症の方でも就労でき、社会に参加して自らの存在価値を感じられる、そういう社会にしていけないといけないのかなという課題がでてきたと思っています。

理事の役職等一部変更のお知らせ

第11回総会後にて下記のとおり理事の役職の変更と外部理事の変更がありました。

- 白井正和 : 副会長 → 事務局長
- 伊藤佳世子 : 事務局次長 → 副会長
- 秦野隆治 : 事務局長 → 事務局次長。
- 菅野道生 : 2023年度外部理事（新任）
 （日本ソーシャルワーク教育学校連盟）

引き続きよろしくお願ひします。



ストリート
ネットワークの部屋

ストリートネットワークマン

(社会福祉士/レポーター)

私利私欲の持ち込み企画第二弾は
あちこち出没する二瓶陽子(にへ
いようこ)さんの登場、あれやこれ
やをお聞きしました。



ストリートネットワークマン(以下首痛)
いろんな所でお見掛けします。ど
んな活動を?

二瓶(以下陽子ママ) 柏市生涯現
役促進協議会の事業統括員として
生きがい就労に向けた活動をして
います。その他に柏市教育福祉会
館(ラコルタ柏)のコーディネー
ターとして教育と福祉の一体運営

のコーディネートをしたり、地域
支えあい推進員として互助の仕組
みや通いの場の立ち上げも手掛け
ています。

首痛 うんうん。なんかいつも楽
しそうだし。柏にはいつから?

陽子ママ 出身が京都の南部の城
陽市というところで、出産と同時
に柏市に転居したんです。知り合
いもないし初めての子育てで、
本当に心細かったわ。(遠い目)

でもね、柏に来てコミュニティに
入りやすかったのよ。オープンマ
インドというかノリがいいという
か。それで人から頼まれてPTAの
副会長や市の審議会の委員を経験
したり。

首痛 そして四十代半ばで社会福
祉士を取得されたと。これまでの
活動の中で印象に残っていること
は?

陽子ママ 柏市生涯現役促進協議
会の活動は、これまでは会社を定
年退職した男性が対象、というイ
メージが強かったんだけど「五十
五歳以上の方の就労・社会参加の
支援」と銘打ったことで、五十代

の方と女性の受講者が増えてセミ
ナーも大盛況だったの。

首痛 「人生百年時代」なんて言
うけれど、伸びた寿命をどう生き
ぬくかはだれにとっても切実な宿
題ですものねえ。

陽子ママ でも本当の難しさは団
体や仕組みを作った後。何を目指
すのかが問われるから、難しい...
首痛 継続していく難しさ、です
よね。空き家を活用した健康づく
りと学びの場の「プチカル柏の葉」
の代表もされていますね。

陽子ママ コロナ前より利用者が
増えているのよ、おかげさまで今
年十周年。ホームページや
Facebook ページもあるのでチェ
ックしてみてね。

首痛 おめでとうございます!長
くみなさんから愛される場所であ



りますように。最後に、これから
の展望を教えてください!

陽子ママ 多世代・居場所・交流・
学ぶ・働く、をキーワードにコミ
ュニティの場を作りたいんです。
例えばみんなが集まれるカフェと
か、駄菓子屋さんとか、スナック
とかやりたいの。スナックのママ
が実は社会福祉士で、お客さんの
ネットワークが誰かの力になって
いきいきとしていくのを見るのつ
てうれしいじゃない?

首痛 スナック陽子の陽子ママに
愚痴(地域課題)をこぼしたら「あ
ちらのお客様からです」と焼酎の
お湯割り(梅干し入り)がプレゼ
ントされ、どなたかと振り向いた
らその関係者だった、なんてこと
も夢じゃない!実現の暁には、首
痛もお湯割り作りにはせ参じま
す!



葉の柏のプチカル
ホームページ
はこちら

社会福祉士の

わ

株式会社シャイニーケア

居宅介護支援事業所 アリスケア

センター

主任介護支援専門員

在原 憲(ありはら けん)



皆さんは自分が何者なのか：と
考えた事がありますか？私は自分
が何者なのか・・・ふと考える瞬
間があります。この様な執筆をお
願いされた時がまさにその瞬間で
す。こんな大役を私の様な人間で

良いのだろうか・・・と。私は社会
福祉士として素晴らしい功績をあ
げた訳でも無いし、大志を抱き活
動した事もない。一人の人間とし
て周りの人達から頂いた恩を返し
ているだけである。そんな私が『他
者から見ると何者に見えるのだろ
うか？』と親しい人に何度か聴い
た事がある。残念な事に私自身が
納得する答えがないのが現状であ
る。ただ唯一分かっていている事は、
私という人間は『周りから頂いた
御縁の連続で出来ている』という
ことである。色々な場面で沢山の
素敵な先輩や仲間に出逢い、素晴
らしい出来事に恵まれてきた。唐
突ではあるが、今までどんな御縁
を頂いてきたのか、少し振り返っ
てみようと思う。

二十歳の時に就職した会社に任

使あがりの先輩がいた。その先輩
のお陰でキャンプに行く様になり、
自然の中で過ごす楽しみを知った。
それを切っ掛けに自然の中で仕事
がしたい！という思いが湧いてき
た。そんな時に北海道の牧場がテ
レビ放映されていたのだ。これは
御縁だ！馬の仕事をする！と思い
二十五歳で北海道に移住してしま
った。その牧場での仕事はテレビ
で観たものとは違いとでも大変で、
移住して十二時間で『もう帰らた
い・・・』と思う程だった。そんな
私の姿を見ていた広島出身の先輩
が『まあ飲めや』と缶ビールを一
本くれた。とても温かい思いにな
りもう少し頑張ってみようと思っ
た。暫くして牧場での仕事にも慣
れ楽しく過ごしていた頃、チーズ
を作る部門に移動してみないかと
と提案された。最初は上手く作れ
ず師匠に怒られていたが、いつの
間にかチーズ職人と呼べるレベル
になり、北海道での生活も三年経
っていた。ある時、私の作ったチ
ーズを『イタリア大使が食べて大
絶賛』という新聞記事をゴボウ農

家の女将さんが見つけてくれた。
居ても立っても居られず大使館へ
お礼の電話を入れる事にした。勿
論、大使本人とは話せなかったが
大使秘書と話す事ができた。これ
は御縁かも！イタリアに行つてチ
ーズを作るぞ！と思い、渡航準備
の為に千葉に帰る事にした。しか
し簡単には事は進まずイタリア行
きを断念・・・。もう二十八歳だし
次にする仕事は一生続けられる仕
事にしよう！と強く思い『福祉』
という仕事に出逢った。あれから
二十数年：アツと言う間である。
志し半ばで天国に逝ってしまった
仲間と三人で立ち上げた会社も今
では二十五人。素晴らしいスタッ
フや地域の仲間にも困まれて毎日充
実した日々を過ごしている。

最後になりましたが、今回の執
筆にあたり、自分を振り返る良い
機会を頂き感謝申し上げます。振
り返れば振り返る程、お世辞にも
真つ当な人生とは言い難いもので
はありますが、様々な御縁から頂
いた素晴らしい恩に対し、これか
ら御恩返し出来たらと思います。

海や山の恋しい季節となりました。みなさまいかがお過ごしでしょうか。
さて、会員のみなさまのご協力のもと、第11回定時総会を無事に開催することが出来ました。ご出席いただいたみなさま、書面表決・委任状をご送付いただいたみなさま、ご協力ありがとうございました。今後とも、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。お忙しい日々をお過ごしのことと思います。これから暑い日々を迎える時期ですが、くれぐれもご自愛ください。

研修等・行事のお知らせ

※研修等が新たに決定した際にはホームページに随時掲載致します。是非チェックしてください。

千葉県社会福祉士会ホームページ：<http://www.cswchiba.com/>

はじめまして！

** 新事務局員のご紹介 **

4月1日より事務局に入りました松中と申します。明るく、丁寧に仕事に向き合っていきたいと思います。初めてのことでご迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが、頑張ります。よろしくお願いいたします。

ようこそ！千葉県社会福祉士会へ

氏名	居住地	勤務先	氏名	居住地	勤務先
小西 礼子	市川市	NPO 法人千葉精神保健福祉ネット	曾波 暁美	我孫子市	柏東口地域包括支援センター
金澤 いづみ	柏市	(福)新柏会 ケアプランセンターヴィヴァン	鈴木 有沙	—	(福)千葉ベタニヤホーム 旭ヶ丘母子ホーム
寺田 学	千葉市中央区	NPO 法人ゆう 福祉ハウスふわふわ	白濱 大輔	—	ケアステーションちいきのわ
山口 恵美	船橋市	—	中島 道臣	—	—
—	—	袖ヶ浦市役所	由利 康規	習志野市	—
田中 孝典	いすみ市	—	江幡 正輝	—	—
江澤 ゆき江	千葉市中央区	—	田村 栄子	—	—
永井 絢也	千葉市緑区	(医)淳英会 介護老人保健施設おゆみの	白田 東吾	佐倉市	船橋市保健と福祉の総合相談窓口さーくる
内山 安正	千葉市若葉区	—	藤井 朋香	袖ヶ浦市	(株)ノバ・メディクス
小内 飛鳥	茨城県神栖市	NPO 法人コスモスの花	中村 泰行	旭市	(福)旭市社会福祉協議会
玉木 勝	千葉市稲毛区	わくわくすまいる西千葉校	町田 抄子	我孫子市	—
佐藤 健二	千葉市若葉区	(福)千葉シニア まごころ館四街道	加藤 直子	八千代市	志津北部地域包括支援センター
大森 浩一	千葉市緑区	(特養)第2いすみ苑	海野 芳郎	—	千葉刑務所
田代 良一	千葉市若葉区	NPO 法人エスエスエス ちょうしサポートセンター	杉本 広奈	市原市	(株)白扇 コスモスヘルパーステーション
麻生 ゆかり	君津市	—	齋藤 勇輝	大網白里市	(福)翡翠会 山武みどり学園
杉山 たみ枝	船橋市	—	武内 明子	流山市	—
星野 渉	印西市	—	都筑 裕子	鎌ヶ谷市	—
國安 早苗	—	—	土佐 一仁	—	湊町法律事務所

※正会員登録書「点と線掲載の可否」の項目で、可に○を頂いている方のみ掲載しております。(順不同・敬称省略)

令和5年6月12日現在の会員数

正会員 1,614名 準会員 2名 賛助会員 2名 合計 1,618名